

令和4年5月17日(火)  
愛知県公立大学法人 愛知県立大学  
担当 学術情報部 研究支援・地域連携課  
尾澤・稲生  
電話 0561-76-8843  
E-mail renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

---

公開講座「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」—排除と排斥を考える」  
のお知らせ

---

愛知県立大学は、地域社会への貢献や生涯学習に向けた取り組みの一つとして、これまでに蓄積された研究成果を広く社会に還元するため、以下のとおり公開講座を開催いたします。是非、貴社にてお取り上げいただきますとともに、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

**【題 目】 “人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？” —排除と排斥を考える**

**【概 要】** コロナ禍で、「自粛警察」などの集団的な私的制裁が活発化し、「不寛容」が社会的な問題として認識されるようになってきている。相模原の障がい者施設での事件、ヘイトクライム、さらには日常的なヘイトスピーチ、差別、ネットでの書き込みなどの問題が顕在化し、「正義」が過剰になり、社会は「逸脱」を許さない。こうした問題にどのように向き合うべきか。2018年7月に「実行犯」とされる人たちの大量死刑執行により「終結」と思われている一連の「オウム事件」を扱ったドキュメンタリー『A1』『A2』を通じてこの問題に対峙した森達也監督を講師に迎え、今の日本社会を考えたい。

**【第一部】** (講演) 森 達也 氏 (映画監督、作家)

**【第二部】** (対談) 森 達也 氏 × 中村 一成 氏 (ジャーナリスト)

**【日 時】** 令和4(2022)年6月29日(水) 14時00分から16時30分まで

**【会 場】** 愛知県立大学長久手キャンパス S101 教室／オンライン

**【交通アクセス】** 東部丘陵線(リニモ)「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分

**【参加申込】** 6月27日(月)までに、本学地域連携センターウェブサイト (<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>) にアクセスいただき、「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」—排除と排斥を考える」から所定の申込フォームに情報をご入力ください。

**【会場定員】** 100名

**【参加費】** 無料

**【取材申込】** 研究支援・地域連携課までご連絡ください。  
(メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp)

**【主 催】** 愛知県立大学 地域連携センター

# 「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」

—排除と排斥を考える—

## 森達也(映画監督・作家)

広島県呉市生まれ。オウム真理教信者たちを被写体にしたドキュメンタリー映画『A』(1998年)は、ベルリン国際映画祭など多数の海外映画祭に招待されて大きな話題となった。99年にはテレビ・ドキュメンタリー「放送禁止歌」を発表。2001年には映画『A2』が山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。映画作品は他に『311』、『Fake』、『i ~ 新聞記者ドキュメント』がある。2011年『A3』(集英社インターナショナル)が講談社ノンフィクション賞を受賞。他の著作に、『放送禁止歌』(智恵の森文庫)、『職業欄はエスパー』、『いのちの食べかた』、『死刑』、『クオン・デ〜もう一人のラストエンベラー』(角川文庫)長編小説作品『チャンキ』(論創社)、『すべての戦争は自衛から始まる』(講談社文庫)、『U 相模原に現れた世界の憂鬱な断面』(講談社現代新書)などがある。近著は『千代田区一番一号のラビリンス』(現代書館)。2023年には劇映画を公開予定。



森達也さん

コロナ禍で、「自粛警察」などの集団的な私的制裁が活発化し、「不寛容」が社会的な問題として認識されるようになってきている。相模原の障がい者施設での事件、ヘイトクライム、さらには日常的なヘイトスピーチ、差別、ネットでの書き込みなどの問題が顕在化し、「正義」が過剰になり、社会は「逸脱」を許さない。こうした問題にどのように向き合うべきか。

2018年7月に「実行犯」とされる人たちの大量死刑執行により「終結」と思われている一連の「オウム事件」を扱ったドキュメンタリー『A』『A2』を通じてこの問題に対峙した森達也監督を講師に迎え、今の日本社会を考えたい。また、第II部ではジャーナリストの中村一成さんも交えて、対談を行う。

日時

2022年6月29日(水)

14:00 - 16:30

参加費無料

## 中村一成(ジャーナリスト)

1969年、大阪府寝屋川市生まれ。新聞記者を経て2011年からフリー。在日朝鮮人や移住者、難民を取り巻く問題や、死刑が主なテーマ。映画評の執筆も続けている。著書に『ルポ 京都朝鮮学校襲撃事件——<ヘイトクライム>に抗して』(岩波書店、2014年)、『ルポ 思想としての朝鮮籍』(岩波書店、2017年)、『映画でみる移民/難民/レイシズム』(影書房、2019年)、『ウトロ ここで生き、ここで死ぬ』(三一書房、2022年)など



中村一成さん

場所 愛知県立大学長久手キャンパス S101 + オンライン

(会場定員：100名)

状況により、延期・中止・またはオンライン開催のみに変更することがありますので、最新状況は地域連携センターWebサイトにてご確認ください。

申し込み先：愛知県立大学地域連携センターWebサイトにアクセスいただき、「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」専用ページよりお申込みください。  
Webサイト：<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>



※事前に『A』をなるべく鑑賞しておいてください